

曹洞宗（そうとうしゅう）

# 鏡徳寺報 第23号 (R6.12.31 発行)

住 所 茨城県日立市弁天町3-3-33  
電 話 (0294) 21-2049  
FAX (0294) 21-2092



## 大本山總持寺大祖堂

(だいほんざんそうじじだいそどう)

**初春のお慶びを申し上げます**

あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひいたします。

皆さまのご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

**お正月のお参りをしましょう**

お正月は、お墓参り、お寺参りをしましょう。新年のお誓い、お願い事に、どうぞご家族皆さままでお参りください。鏡徳寺では元旦から三日まで早朝にお正月のご祈祷法要をお勤めします（修正会）。四日から鏡開きの八日までの間にお参りいただいた方には修正会でご祈祷したお札をお授けします。（一札千円）

また、毎月十七日は観音様のご縁日で、一月十七日は初観音です。観音様は一切衆生を救うお誓いを立てられた菩薩さまです。新しい年を迎えて初めてのご縁日は特にご功德があるとされています。鏡徳寺の観音様は、平生は扉を閉ざしていますが、一年に一度、この日のみ御開扉しております。どうぞお参りください。

**世話人会発足 瑩山禅師七百回大遠忌本山参拜**

昨年夏「鏡徳寺檀信徒総代世話人会」が発足いたしました。会長は鈴木邦壽氏。副会長は富田寛治氏、今橋武久氏です。赤津秀男氏、海野定文氏、須田要介氏、今橋孝司氏、富田良雄氏、鈴木快助氏、五十嵐達夫氏、長山宏行氏、滝勝行氏、長山和子氏、菊地正一氏、小角和子氏の計十五名で鏡徳寺興隆の為に活動します。

十一月には曹洞宗太祖瑩山禅師の七百回大遠忌にあわせ横浜市鶴見区の大本山總持寺を参拝し、ご焼香してまいりました。



## 法要待合室を全て机と椅子にしました

皆さまより多くのご要望がありましたので、法要待合室をすべて机と椅子にいたしました。尚、本堂については、先代住職の時より法要椅子を常設し、椅子に腰かけてお参りできるようになっています。(約五十名まで利用可能) お寺には階段や段差などが多くバリアフリーというにはまだほど遠い状況ですが、少しずつ改善しております。



## 弘眞沙弥、お小僧さんを立派に勤めました

去る十一月十七日(日)、日立市十王町の東泉寺さまで若い僧侶が集まり、首座(しゅそ)と呼ばれるリーダー格の僧侶へ禅問答を掛け、その力量を試す法要「首座法戦式(しゅそほつせんしき)」が修行されました。鏡徳寺住職の長男、弘眞(6才)も特別なお役をいただき、テーマに沿った漢詩を暗唱、また禅問答の第一問目を担当し役目を立派に勤めあげました。年少者が勤めることが多いお役ですが、未就学児が勤めることは少なく、ご列席の皆様も感心された様子でした。



堂々と問答に挑みました

## 鏡徳寺イベント案内

### ☆コンサートイベント

スタジオ Kika 主催のチャリティーコンサートを四月中旬開催予定で企画しています。詳細が決まり次第寺報等でお知らせします。

### ☆坐禅会

毎月第二日曜日、午後二時より拈華堂にて坐禅会を開催しています。(一月・八月除く)

## 鏡徳寺一問一答 おしえてお寺さん!

Q. 法要は、仏滅、友引は避けたほうがいいですか？

A. あまり気になさらなくても大丈夫です。

暦を気にして年忌法要の日を決められる方もおられるようですが、お寺としては特にこの日にやっつけいけない、という日はありません。先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口という六曜が現在の一般的な表記になったのは諸説ありますが十九世紀前半とされます。仏滅も、お釈迦様と関連があるというわけではなく、かつては「虚亡」といっていましたが、すべてが虚しいと解釈されて「物滅」と書かれるようになり近年「仏滅」の字が当てられたようです。縁起を担ぐことも時として大事ではありますが、過剰に気にしすぎないようにしたいものです。

お申し込み不要。檀信徒以外の方も可。お気軽にどうぞ。

### ☆写経会

毎月第二日曜日、午前十時より拈華堂にてお写経会を開催しています。(一月・八月除く) お申し込み、お道具(紙・筆)不要。

### ☆お悩みききます

誰にも相談できずに苦しんでいるお悩みをお寺でお話しませんか。日程調整がありますので、まずはお問い合わせください。

### ☆ウェブサイトできました

お寺の概要やよくあるご質問、寺報のバックナンバーなどを載せています。ご利用ください。

<https://www.hitachi-kyotokuji.jp/>

